

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ビジョン

Space within Your Reach～宇宙を普通の場所に～。小型衛星技術のパイオニアとして宇宙ビジネスの先頭に立ち…

GRUS衛星機数
7機日撮影能力
230万km²衛星開発期間
1年

② 中長期の経営戦略

1. 事業セグメントのシナジー

AxelLiner（アップストリーム）とAxelGlobe（ダウンストリーム）の両事業を両輪として展開。量産効果とエンドユーザーニーズの衛星設計への反映で競争優位性向上を目指す。

3. 汎用バスシステム確立

PYXISで初搭載。GRUS-3αで電源システムの改修を検証中。従来2～3年要した開発を最短1年での打上げを目指す。

2. 製造アライアンス推進

2023年7月にミスミ、由紀ホールディングス、キャリムエンジニアリングと契約。並行製造による効率化と時間短縮化・省力化を実現。

4. AxelLiner Terminal…

顧客がシンプル入力で衛星構成・コスト・スケジュール把握可能なソフトウェア。UX革新とプロジェクト期間短縮を実現。

③ 対処すべき課題

① 小型衛星技術の継続研究開発

- ・進展スピード速い衛星関連技術への継続投資が技術力維持と安定事業運営の鍵。

② 衛星データ解析事業の高度化

- ・GISデータやコンピュータビジョン等の取扱い経験が必須。
- ・衛星データ販売の参入障壁低下により、解析・ソリューション提供へのシフトが必要。

③ サービス実装と検証

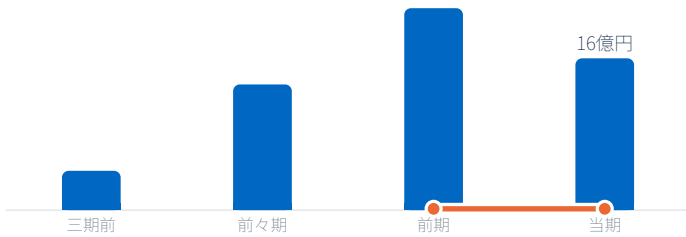
- ・AL Lab（軌道上実証サービス）による定期打上げと第三者認証機能の構築。
- ・AL Pro（ミッション実現サービス）でのプロジェクト期間短縮と省力化実現。

面接で使えるポイント

- ・小型衛星技術で世界的に珍しいアップストリーム・ダウンストリーム両事業展開モデル
- ・GRUS-3で7機コンステレーション実現により1日最大230万km²撮影能力を獲得
- ・AxelLiner Terminalのデジタル化で従来2～3年の衛星開発を最短1年に短縮

証券コード 402A

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
16億円営業利益率
▲157.2%財務健康度
21点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 39.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
713万円

輸送用機器内 30位/82社

平均年齢
42.4歳

輸送用機器内 42位/83社

平均勤続
2.5年

輸送用機器内 83位/83社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: アクセルスペース、次世代地球観測衛星「GRUS-3」を202

